

DREAM Satellite

Satellite – The world’s most productive Recorder and Editor

Satelliteは32/48/64/96トラック構成が可能なデジタルオーディオワークステーションで、MADIも含みアナログ/デジタル入出力を任意で選択できます。

DREAM製品群のすべての製品と同じく、Satelliteはエディットの高速化と簡素化のためにBinnacleエディティングを組み込んでいます。

Satelliteのグラフィクスディスプレイはオーディオプロジェクトを作成するのに必須の全ての情報を提供します。さらに重要なのは、情報を非常に素早く表示することです。プロのエディターによって元々考慮された高解像度、スムーズにスクロールするウェブフォームは全てのトランスポートモードで表示されます。Satelliteのズーム機能は、8時間から200ms(6フレーム)までで表示されたタイムスケールに即座に拡大したり縮小したりすることができます。Satelliteのトランスポートコントロールはオーディオエンジニアにすぐに馴染むもので、従来のテーブルコーダーの仕様似たものになっています。ですが、Satelliteは真のランダムアクセスオペレーションを提供しています。オーディオは、全部あるいは任意のトラックに対して、縦目なくパンチン/アウトすることができます。Satelliteはコンピュータベースのシステムと違って真のマルチトラックパフォーマンスを提供します。

パワフルな4バンドパラメトリックイコライゼーションはレンダリングや待ち時間なくプロジェクト内の各クリップに対して用意されています。フェアライトのTimefx(tm)ソフトウェアが標準装備され、タイムコンプレッション/エクスパンション、パリスビード、パリピッチ機能を利用することができます。SatelliteはMFファイル、AIFF、BROADCAST WAVE、DARファイルとMP-3オーディオをVirtual Studio Runnerオプションを使って自動的にインポート/エクスポートすることができます。



フェアライトのMediaLinkオーディオネットワークサーバーシステムはLAN、WANやインターネットへの簡単なアクセスにより世界全体への接続が可能です。Satelliteは最速で最も直感的なSFXライブラリーデータベースシステムが可能で、ネットワークされている場合、AudioBase2によって非常に大きなサーバーベースのSFXライブラリーへの透明性のあるリアルタイムアクセスが可能です。

SatelliteはADR、音楽、汎用マルチトラックレコーディングのようなすべてのオーディオレコーディングエディティング機能のための単体型操作に向いています。エディターとしては、SFX、ダイアログ、音楽エディットに使うことができます。すなわち、他のDREAMファミリー製品のフィードーステーションと同じくスタジオワークフローの一部として利用することができます。

SoftMix はQDCエンジンのパワーを最大限に引き出しSatelliteとMXF3.48マシンを完全にオートメート化されたサウンド対応ミキシングシステムにパワフルなダイナミクス、イコライゼーション、フェアライトのプラグインマネージャーのサポートとともに移行させたものです。SoftMixは外部ミキサーを必要としません。

SoftMixはWindows2000またはXP搭載の標準的なPCで動作します。

次の2つの構成が可能です。

- ・24トラックSoftMix：32チャンネル(24トラックと8つの完全機能「ライブフィード」)を16ミックスバスへ
- ・48トラックSoftMix：56ミキシングチャンネル(48トラックと8つの完全機能「ライブフィード」)を24ミックスバスへ

プラグイン Plug-In Manager 6はDREAMファミリーに新たに統合されたプラグインシステムです。Plug-In Managerは外部PCまたはDREAM Station PlusとConstellation内部にオンボードで動作します。

システムは40ビット浮動小数点マルチプロセスDSPカード上で処理動作する優位性をもっています。Plug-In Managerは洗練されたリバーブ、マルチタップディレイ、フェーザー、コーラス、フランジャー、ディエッサー、オートパンなど80のリアルタイムエフェクトのファミリーも提供します。Plug-In Manager 6はサードパーティのVSTプラグインもサポートしています。

Pyxis NLV はオーディオポストプロダクション環境でのノンリニアビデオプレイバックレコーディングのトータルソリューションです。

ビルトインネットワークで、Pyxisは圧縮(DV25)と非圧縮ビデオフォーマットでの再生をサポートします。また、OMFとQuicktimeファイルフォーマットのネイティブプレイバックもサポートしています。

オプションにはDecklink ExtremeハードウェアのサポートのためのPyxis Pro、リスト作成とオンスクリーンテキストディスプレイモードのためのADRオプションがあります。Pyxisは独自の双方向マシンコントロール機能をそなえており、PyxisまたはDREAMユーザーインターフェースのどちらかからのオートロケートなど同時トランスポートコントロールを可能としています。

主な機能

Satellite

- ・フルファンクションデジタルオーディオワークステーション
- ・32, 48, 64, 96トラック
- ・リアルタイムユーザー定義可能なXフェード
- ・4バンドクリップベースのEQ
- ・タイムコンプレッション/エクスパンション
- ・ビルトインマシンコントロール
- ・96までのアナログ/デジタル/O
- ・最大96チャンネルMADI/O
- ・MediaLink Networking対応
- ・Binnacle™エディティングパワー
- ・Fairlight MFxとQDCシステムとのプロジェクト互換
- ・オプションOMF1+2, AIFF, WAV, MP3, BCast WAVファイルコンパティビリティ
- ・オプションSoft Mixミキシング/オートメーション
- ・オプションサードパーティプラグイン

主な機能

Station Plus

- ・最大96トラック
- ・最大192チャンネルミキシングエンジン
- ・最大72のユーザー定義可能なミックスバス
- ・4オグジュアリア、モノまたはステレオ
- ・4サブバス、それぞれ7.1まで
- ・バス対バスミキシング
- ・複数サウンドフォーマットの同時ミキシングのためのバスリダクションシステム
- ・7.1までのメインバス
- ・16マルチトラックバス
- ・メイン/サブバスでのダイナミクス
- ・全トラック、ライブフィード上でのリアルタイム6バンドEQ
- ・全トラック、ライブフィード上でのリアルタイムの2ステージダイナミクス
- ・最大48リターンチャンネル
- ・チャンネルバスへのインサクション
- ・包括的なダイナミックオートメーション
- ・ムービングタッチセンスロータリーコントロール/フェーダー
- ・進化したサウンドパンニングシステム
- ・Binnacle™ Editing/パワー
- ・オプションのSidecarフェーダーエクステンションベイ
- ・オプションのメータリングユニット
- ・オプションのOMF1+2, AIFF, WAV, MP3, BCast WAVファイルコンパティビリティ
- ・オプションのサードパーティのプラグイン

主な機能

ConstellationPlus

- ・最大240チャンネルミックスエンジン
- ・最大72ユーザー定義可能なバスMono-7.1
- ・Monoから7.1までの“Constellation” Channelコンフィギュレーション
- ・8つのマルチフォーマットサブバス
- ・16のマルチトラックバス
- ・バス対バスミキシング
- ・複数のサウンドフォーマットの同時ミキシングのためのバスリダクションシステム
- ・12オグジュアリーセンドユーザー定義可能なMono-7.1
- ・包括的なSoloシステム AFL, PFL,SIP
- ・包括的なマトリクスを可能としてハイエンドなオートメーション
- ・直感的なタッチ感覚オートメーションモード
- ・フィルタなどすべてのコントロールパラメータのオートメーション
- ・2ステージダイナミクスプロセッシング
- ・6バンドEQフルレンジ
- ・4バンドクリップベースEQフルレンジ
- ・統合された96トラックディスクレコーダー
- ・Binnacleエディティングパワー



- ・クリップ、トラック、レンジベースのエディットのオーディオエディティングに続くオートメーション
- ・オートメーションを含むパワフルなアンドゥ/リドゥ構造
- ・タッチセンスモーター駆動フェーダーとロータリーコントロール
- ・包括的なマルチフォーマットサウンドパンニング
- ・オートメーションパラメータの点灯状態
- ・包括的なモニタリングオプション
- ・カスタムコンフィギュレーションバス/テーパーモニタリングシステムのユーザープログラム可能なマクロ
- ・80のプラグインライブラリーをもつ統合されたオプションプラグイン
- ・ピアトピアまたはサーバーベースでのネットワーク可能
- ・包括的なサーバーベースのSFXライブラリ管理
- ・ビデオエディティングをもつ統合されたオプションノンリニアビデオシステム
- ・オプションのOMF1+2, AIFF, WAV, MP3, BCast WAVファイルコンパティビリティ

DREAMファミリーオプション

- ・Pyxis 統合されたビデオエディティングつきノンリニアビデオシステム
- ・80のプラグインライブラリーをもつ統合されたプラグイン
- ・DREAM Auto EDLコンフォーム
- ・自動電子ファイルインポート/デリバリーのためのVirtual Studio Runner
- ・MediaLinkネットワークライセンス
- ・AV Transferソフトウェア
- ・96KHzソフトウェア オプションのOMF1+2, AIFF, WAV, MP3, BCast WAVファイルコンパティビリティ

DREAMファミリー仕様

- アナログ入出力
- ・入力インピーダンス=10k Ohms
 - ・出力インピーダンス<55 Ohms
 - ・最大入力レベル+24dBu
 - ・最大出力レベル+24dBu
 - ・+14dBから +24dBuまでの間で調節可能な標準操作レベル
 - ・入力信号対ノイズ比>113dB A-weighted (A/D conversion)
 - ・出力信号対ノイズ比>113dB A-weighted (D/A conversion)
 - ・システム信号対ノイズ比>110dB A-weighted
 - ・システムTHD<0.0008% typical
 - ・帯域幅(.25dB) 20Hz to 20kHz

- AES/EBU入力
- ・最小デリアンシャル200mV
 - ・入力インピーダンス110 Ohms transformer isolated
 - ・チャンネルステータスQDCテクノロジーシステムはチャンネルステータスに無関係

- AES/EBU出力
- ・出力レベル4V
 - ・出力インピーダンス110 Ohms transformer isolated
 - ・チャンネルステータス、プロフェッショナル、ノーマルオーディオ、ソースロック
 - ・プロジェクトサンプルレートにセットされるサンプル周波数、ステレオフィニック、24ビットワードレングス

- システムサンプルレート
- ・32, 44.056, 44.1, 48, 96kHz(ユーザー選択可能)
 - Run-up/Run-downサンプルレート
 - ・44.056, 44.144, 47.952, 48.048, 95.904, 96.096kHz

- SRC Range (オプションSRC I/Oモジュール装備)
- ・Input: 0.33 to 3.0x レンジリミット15kHzから108kHzのシステムサンプルレート

- クロックリファレンス
- ・内部、AESリファレンス、WCLK、デジタルインプット、ビデオリファレンス、LTC入力
 - ・システムは48kHzリファレンスにロックして96kHzで動作可能あるいは96kHzリファレンスにロックして48kHzで動作可能

仕様は予告なしに変更されることがあります。



FAIRLIGHT DREAM

DREAM Constellation

Bringing large-scale, multi-format work within your reach

過去20年、フェアライトのエディター達は最適な価格で買える最高のものに関心を抱いてきました。そして今、世界のナンバーワンエディターは世界初の完全に統合されオートメイト化されたマルチトラックレコーダー—体型の大型オーディオミキサーを開発しました。今までと同様の直感的なインターフェースを採用することによってオートメーションとオーディオをワンタッチの環境でエディットすることができます。

フェアライトの Constellation フル装備システムのご紹介

DREAM Constellationは最大240チャンネルを72のミックスバスエレメントにルートすることができます。この72バスエレメントのプールは必要に応じてメインバスと最大8つのサブバスと12のオグジュアリーセンドの間で分け合うことができ、それらのすべてが7.1までのフォーマットが可能で、さらに16のモノマルチトラックバスが可能です。フィルタリングと2ステージダイナミクスプロセッサを備えた6バンドEQは最大144チャンネル上で同時に使うことができます。包括的なバスシステムによって複雑な作品のために同時に複数のサラウンドフォーマットを作り出し、さらにバス対バスミキシングを行うことができます。独自のグルーピングとパンニングシステムによってエフェクトのためのミックスマトリクスをスムーズにかつ簡単に操作することができ、最も複雑なサラウンドサウンドミックスが簡単にできてしまうことを確信します。

実際のI/Oはアナログ、AES、MADIフォーマットがあり、洗練された内部パッチングシステムによって外部と内部間で入出力、パスルーティングを全体的に自由に行うことができます。

モニタリングバスシステムはホールドダウン/ホールドアップモードで完全にプログラム構成可能なので最大9つのスピーカーセットそれぞれを瞬時に切り替えて好きなバスフォーマットに構成することができます。

拡張性

DREAM ConstellationはQDCエンジンをういてコントロール操作パネルが一つにまとめられ、必要なチャンネルカード数を選択的に装備することができます。Constellationは2つのシャーシサイズから選ぶことができ、それぞれがフェーダーパネル、チャンネルアサインパネル、メーターブリッジを選択して装備することができます。フェーダーアサインメント、パネル位置、バスコンフィギュレーション



DREAM Constellationシステムには5ベイと3ベイの2つのスタンダードシャーシコンフィギュレーションが用意されています。各基本システムは1つのフェーダーパネル、CAPパネル、エディターパネル、チャンネルセレクトパネルがそなわっています。余ったスペースは（3ベイでは2.5ベイでは6）最大60フェーダーを装備できるフェーダーパネルやCAPパネル、左または右マウント式TFTスクリーンオプションをとりつけることができます。メインメーターとチャンネルメーターから成るメーターブリッジをシステムに装備することもできます。各チャンネルメーターユニットは12アサインブル高解像度53セグメントバーグラフメーターが備えられています。メインメーターは8つのアサインブル高解像度79セグメントメーターが装備されています。また、メインメーターユニットにはVUメーターと位相メーターが標準装備されています。



ン、ダイナミクス操作、パン、オグジュアリー等、主な機能構成オプションを選ぶことができるシステム設計になっています。DREAM Constellationの独自設計の要はチャンネルコントロールとコンフィギュレーションに個別チャンネルからローカルにあるいは中央コントローラーからグローバルにアクセスすることができるようになっていてことです。DREAM Constellationの拡張されたコントロールパネルには、タッチセンシティブ・ポットとフェーダーが備えられており、最大限のアクセス性とオートメーションシステムを含む全機能の視覚性をそなえています。マルチトリムモードでは1つのコントロールで複数チャンネルの直感的なコントロールを可能とし、大部分のセットアップとミックス作業速度を上げることにつながります。

DREAM Constellationの包括的なオートメーションシステムにはプロセッシング、ルーティング、サードパーティプラグインなどオンボード機能それぞれに対する各パラメータが含まれています。

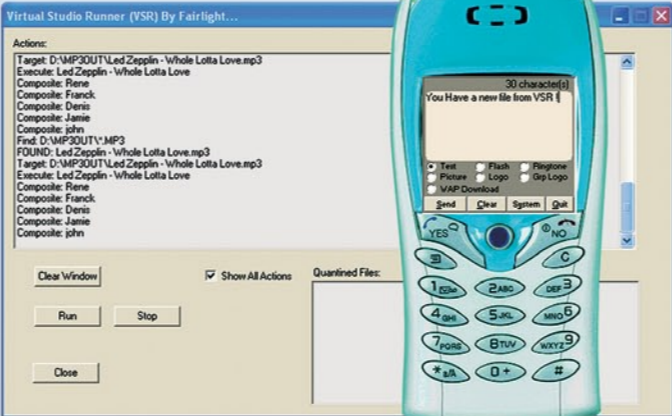
GPIO能力搭載のフル装備マクロプログラミングシステムによって、主な機能を広くカスタマイズすることができるので、DREAM Constellationを迅速かつ簡単に特定のワークフローやコンフィギュレーション条件にあわせて統合することができます。このような能力はDREAM Constellationがリパワフルなミキシングシステムというだけでなく完璧なレコーディング/エディティング環境でもあると考える時に特に威力を発揮します。

オートメーション

DREAM Constellationはすべてのミックスパラメータのダイナミックオートメーションを包括しています。DREAMオートメーションは簡単にナビゲート、操作することができます。モーター駆動のタッチセンスフェーダーとノブはすべてのパラメータの現在値を明確に示し即座に直接アクセスして「見てポン」でコントロール・修正することができます。

パラメータイネイブルマトリクス

オートメートするパラメータの選択は双方向選択プロセスによって簡単に行うことができます。フィード上の1つのパラメータを選択してConstellationパネル上のオートメーションイネイブルボタンを押すことによって書き込みまたはアップデイトすることができます。同じように、フィードまたはバスの選択もセレクションキーで行うことができ、そのセットの必要なパラメータがイネイブルにできます。この方法によって複雑なコントロール選択が簡単になり、大切なミックスデータを守りオートメート化されたミックスの変更を簡単にすることができます。



強靭、反復性、統合

オートメーションデータはディスクレコーダーのプロジェクトファイルに書き込まれ、プロジェクト管理作業を簡素化し、強靭さ、反復性、すべてのミックスオートメーションの完全同期を保証します。

トリム、タッチイネイブルモードでの簡単エディット

DREAMオートメーションにはオートメーションデータを書き込みあるいは更新するのにいくつかの方法があります。オペレーターはオートメーションのパンチイン/アウトをしたりIN/OUTキーを使って手動でレコーディングしたり、ドロップインをオートメートするためにIN/OUTポイントを設定するのにIN/OUTキーを使うこともできます。タッチモードではフェーダー、ノブ、ボタンをタッチした通りにオートメートすることができます。すべてのモードは調整可能な Glide Outをサポートしており、新旧のオートメーションデータ間でのスムーズな移行を行うことができます。新しいオートメーションデータは絶対値での書き込みあるいは関連トリムオフセットによって与えられた現在レベル値からトリムしたりすることができます。

DREAM Constellationの洗練されたオーディオエディティングツールはオートメーションデータをエディットするときにも利用できます。トラックやクリップ間でオーディオまたは個別のオーディオのデータをコピー、ペーストすることができます。

総括

DREAM Constellationは他の大型デジタルオーディオミキシングコンソールに匹敵する操作性と機能性をもつハイエンドオートメーション/プロセッシングのフル装備デジタルオーディオミキシングコンソールです。DREAM Constellationは現在広く使われているシネマプレイバックフォーマットに最大7.1チャンネルまで対応しています。さらに、DREAM Constellationは完全に統合された96トラックディスクレコーダー/エディターを備えることも可能です。さらに、システムはユーザー適応度が高いにもかかわらず他のコンポーネントシステムよりもかなり低価格で用意されています。

パーチャルスタジオランナー

Virtual Studio Runnerはスタジオ環境内のDREAMファミリーにVirtual In/Out mail-boxとオフライン実行機能を持たせるものです。フェアライトのMediaLinkサーバーテクノロジーをホストとして使い、システムは自動的に入ってくるファイルを検出しDREAMのコントロールパネルから直接インターフェースを簡単に使ってセッションに挿入することができるようにします。ソフトウェアによってAIFF、WAV、B'WAV、MP3、OMF 1+2、AAF、PT5.0またはAES-31の入ってくるファイルを検出し、洗練されたデコード/エンコードエンジンをを使ってそれらのファイルを自動的に使えるようにします。さらに、オペレーターはファイルをStudio Runner Out going mailシステムによって登録されたコンタクトに送ることができます。この場合、オペレーターは必要なオーディオにポイントしいくつかのプリセットフォーマットでオーディオを「送る」こととなります。これらのフォーマットはエンコードされたMP3ファイルとしてEメールに添付することができ、自動的にスタジオまたはクライアントのFTPサイトに置いたりまたはシステム上に登録されたCDまたはDVDドライブにファイルを焼き付けたりすることもできます。Studio Runnerはコンタクト(クライアント) にファイルがSMSテキストメッセージを通して使うことができることを通知することができます。スタジオオペレーターがさらにクオリティ保証を要求する場合には、Previewモードによってコンタクトにもっていく前にチェックしておくことができる指定QAメールボックスにオペレーターがファイルを送ることができます。

StationPlus—expanding the horizon of audio production and post production

StationPlusは最大7.1フォーマットでの最終ミックスを行うことができる完全なデジタルオーディオレコーディング、エディティング、ミキシングシステムです。

システムは96トラックSatelliteの機能全てを結合して、フル機能、フルオートメーション化された最大192チャンネル72バスのミキシングシステムに統合されています。

StationPlusの各トラックとライブフィードは6バンドEQと2ステージダイナミクスセクションを装備しています。

各メインとサブのバスはバスダイナミクスを装備しています。チャンネルイコライザーセクションは4つのフルパラメトリックバンドで、それぞれが10Hzから22kHzのレンジで同時に操作することができ、加えて2バンドのシェルビング/フィルターはセルフと12dB/オクターブフィルターの切り替えが可能です。

システムのバス構成は、メインミックスバス、4サブバスと4オグジュアリーで、それぞれが7.1まで広げることができます。また系統別のミキシングや国際的なバージョンングのための、バス対バスで個々のプリフェーダーバスダイレクト出力を行うことも可能です。StationPlusはマルチフォーマットでの作業に最初から対応しており、Diverge、Spread、Rotateのような進んだパンニングに適応し、サラウンドミックスの非常に効果的なコントロールが可能となっています。洗練されたグルーピング機能によってリンクされたマルチフォーマットのオーディオソースとバスグループ、フェーダーグループの作成が可能です。

モニターシステムはモニタリングの互換のため統合されたモニターサミングミキサーに加えて複数のスピーカーセット選択を可能にしています。StationPlusはオブ

Fairlight Binnacle エディティングマスターピース

Fairlight Binnacleは革命的な新しいエディティングモデルで、全てのFairlight DREAM製品の核となっています。Binnacleエディティングは簡潔性と使い易さを保ちながら、エディットの早さを飛躍的に進めました。Binnacle(船の羅針盤の覆いちなんだ名前)は全てのエディットとトランスポート機能をジョガーホイールまわりに集中させ、オペレーターが1つか2つの動きでエディットを選択することができます。トゥーハンドエディットは第二の転生となり、少して馴染むことが、多くの場合50%まで主なエディット操作の効率を上げます。



Binnacleはトランスポートとレンジ、プレイ/ジョグ、ジャンプ、フロム/トゥ、コピー、カット、イレース、トリム/スリップ、フェードの専用キーを備えています。またBLUEファンクションもあり、キー操作のワンタッチショートカットが用意されています。Binnacleコントローラーは現在選択されているオペレーティングモードをわかりやすく示すカスタムメイドの3色のLEDを使ったキースイッチを装備しています。カスタムキースイッチは特にプロ用の環境での最大限の信頼性をもってスムーズでかつ正確な操作性のために設計されたものです。

